



<平成 25 年度>

地域振興部の運営方針

地域振興総務課	農政課
生涯学習課	里山振興課
文化観光課	財産区事務局
産業振興課	

■ 基本情報 ■

<担当事務>

- (1) 生涯学習の推進に関すること。
- (2) 市民文化、都市交流及び観光に関すること。
- (3) 商工業及び雇用対策、就労支援に関すること。
- (4) 農業に関すること。
- (5) 里山の保全及び振興に関すること。
- (6) 財産区に関すること。

<部の職員数>H25年4月1日現在

正職員	70名
再任用職員	14名
任期付職員	-名
非常勤職員	65名
合計	149名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

■ 基本方針 ■

地域振興部の所管している、商業・工業・農業などの産業振興、文化・生涯学習など市民活動の支援、都市交流や観光などの賑わいづくり、ふるさと意識の醸成につながる里山の保全など、多岐に亘る内容を効果的に推進し、「誇れるまち」づくりに寄与します。

平成 25 年度は、健康医療都市コンソーシアムの柱の事業として、新たな医療関連産業の創出を目的に、枚方の地域資源である医療機関・大学とものづくり事業者等とのマッチングの充実を図るとともに、都市農業の後継者を育成するための（仮称）枚方版農業学校の開設に向けた取り組みなど、地域産業の振興を図るための仕組みづくりを着実に推進します。

また、教育文化都市の実現に向け、文化芸術の振興を図る条例の制定や、政策企画部と連携し、新たな拠点となる総合文化施設の整備計画を策定するなど、整備に向けた取り組みを進めます。

さらに、関係団体や市民と連携して事業の発信効果を高め、まちの魅力アップを図ります。

I 重点施策・事業

◆新産業創出をめざした産業・医療連携の仕組みの構築

新たな医療産業の創出や医療関連ビジネスの開拓をめざし、経済団体等と連携しながら産学連携強化や、平成 24 年度にスタートさせた情報交換会等により、産業と医療との連携の仕組みを構築します。



◆新規就農に向けた（仮称）枚方版農業学校の開設準備

農業の後継者づくりに向け、新規就農研修事業『（仮称）枚方版農業学校』の平成 26 年度実施をめざします。前年度作成の教育計画を踏まえ、教育カリキュラムを策定するなど、研修生受け入れに向けた取り組みを進めます。

◆文化芸術の振興に関する条例の制定

音楽や、演劇、美術創作など、プロ・アマを問わない市民の芸術文化活動が盛んな本市の特色を生かしたまちづくりを推進するため、文化芸術の振興に関する基本的な考え方を示した条例を制定します。

◆名誉市民・森繁久彌氏生誕100年記念事業の実施

本市の名誉市民であり日本を代表するエンターテイナーである森繁久彌氏の生誕100年を記念し、森繁氏の故郷である枚方だからこそできる話題性のあるオンリーワンの事業として、市民とともに創る舞台公演等を実施し、文化の担い手の育成と郷土意識の醸成を図りながら「教育文化都市」枚方を全国に発信します。

◆大規模小売店舗立地法に関する事務の円滑な執行

大阪府から事務移譲を受けた「大規模小売店舗立地法に係る届出受理等事務」について、コンサルタント業者に一部事務を委託するとともに、庁内関係部署及び関係機関との連携により、適正な事務処理に努めます。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
28. 生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営	生涯学習市民センターと図書館の管理運営について、各施設の役割を踏まえ、サービス向上と効率性の観点から検討を行い、今後の方針を策定。
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	文化国際財団、枚方文化観光協会においてそれぞれ中期的経営プランの策定を要請。
48. 新たな産業振興策の推進と雇用創出の仕組みづくり	新たな医療産業の創出や医療関連ビジネスの開拓を図るとともに、経済団体や大学などと連携し、市内企業と学生のマッチングを促進することで雇用創出と人材育成につなげる仕組みを構築。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
「マルシェ・ひらかた」開催事業	産業間連携のあり方も含め、より効果的、効率的な開催方法を検討。
新産業創出支援事業	中小企業活動支援・地域貢献型ビジネス支援の2事業を統合再編した本事業により、事業者等が取り組む新規性に優れた事業や地域資源を活用した事業を継続的に支援する。
エコ農産物普及拡大事業負担金交付	消費者へのエコ農産物の普及拡大及びエコ農産物申請農業者の増加に向けた取り組みの推進。

<業務改善運動のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	生涯学習市民センターの業務研修を定期的実施。運営マニュアル等の作成（改訂）を適宜行い、公平良質なサービスを提供。
効率的な会議運営	地域振興部は対外的な調整や部内連携にむけた会議が多いため、効率的な会議運営に努める。

III 予算編成・執行

- ◆厳しい財政状況の中で、継続事業に加え、（仮称）枚方版農業学校開設の取り組みや森繁久彌生誕100年記念事業などの新たな事業において国の補助金獲得に努めます。
- ◆国の動向を注視し、各種経済対策に迅速に対応した施策を展開するとともに、各種事業については職員の意識向上と部内連携の強化により、効果的効率的な執行に努め、最大限の成果をめざします。

IV 組織運営・人材育成

- ◆地域振興部の事業は、関係団体や市民との連携協力が不可欠であるため、コーディネート能力を実践の中で高めるとともに、産業や文化等の新たな政策を構築できる企画力ある職員の育成をめざします。
- ◆地域振興部は、毎年イベントの開催が多く、また、自然災害により農地や里山などに多くの被害が出た場合には、その対応に追われます。緊急的、臨時的に多くの人員を要する機会が多いため、部内の応援体制を強化します。

V 広報・情報発信

- ◆情報発信リーダーを中心に、様々なメディアを活用し各種事業の効果的な情報発信に取り組みます。平成 25 年度は、特に森繁久彌生誕 100 年記念事業を全国発信することで、文化のまち枚方を内外にPRするとともに、市民の意見を取り入れながら文化芸術の振興に関する条例を策定します。また、産業や文化、生涯学習、里山保全などの分野での各種団体や市民の取り組みについても発信を支援し、まちの魅力向上に努めます。